

学校教育目標	日に学び さやかな土合 光る汗
目指す学校像	生徒が通いたい、保護者が通わせたい、職員が働きたい、地域が応援したい学校 ○笑顔あふれる学校 ○あいさつが飛び交う学校 ○行事が魅力的な学校
重点目標	1 well-beingを保障する教育の実現 2 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による「主体的・対話的で深い学び」の実現 3 子どもたちのエージェンシーをはぐくむ学校運営協議会の運営 4 全ての生徒の well-being を保障する教育環境づくりに重点を置いた予算編成と予算の有効活用 5 well-being の実現に向けた職場環境づくり

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

年度		学校自己評価			年度評価			学校運営協議会による評価	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	実施日	令和 年 月 日
1	【現状】 ○R6 さいたま市学習状況調査では、市の平均より中1では全ての教科で3pt以上下回っている。中2においても、国語、数学では3pt以上下回っている。 ○R6 さいたま市学習状況調査の「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の肯定的な回答の割合は、市に比べ10pt程度上回っている。 【課題】 ○教職員のICT活用がまだ十分ではなく、学びの指標のICTに係る数値も市の平均には及んでいない。 ○教育データの重要性に気付きつつあるが、指導に生かして授業改善を図ることには至っていない。	・学力向上に向けた教職員の指導力向上に関する取組	①全国や市の学習状況調査などのエビデンスを活用し、本校の課題解決のための指導力向上の研修体制の構築。 ②中学校区の児童のデータを活用し、学力向上カウンセリング学校訪問を実施し、入学前、入学当初に現状把握を行い、授業の工夫改善を図る。	①令和6年度学校評価の保護者アンケート「分かりやすい授業の工夫」の項目における肯定的な回答70%以上を達成できたか。 ②学力向上カウンセリング学校訪問を実施し、授業改善への教員の意欲を高い状態とする。					
		・学びの自律化に向けた情報端末の活用・授業改善	①ICT機器を活用した授業公開を実施するとともに、生成AIを活用した研修の実施。 ②学校DX推進部を中心とした学びの改革を推進するための組織体制の構築。	①学びの指標のICTに係る数値を1回目より2回目が2pt上がったか。 ②各教科で検討したICT機器の活用方法を、全職員で共有する場を設け、多様な活用方法を知ることができるようにする。					
2	【現状】 ○R6 学校評価生徒アンケート「わたしは、学校生活が楽しいと感じている」の肯定的な回答の割合は、93%であり概ね良好である。 ○ステップアップルーム (Sola る一む) は、54人の生徒が個々の状況に合わせて使用している。 【課題】 ○多様な生徒がいる中、担任や学年で抱え込んでしまい、学校全体で組織的に動くことに課題が残る。 ○ステップアップルーム (Sola る一む) を利用している生徒一人ひとり応じた学習環境の整備に課題がある。	・危機管理の徹底とスピーディーな初期対応	①「勤務に当たっての基本姿勢」を作成し、毎月チェックシートをもとにセルフチェックをする。 ②「ほめて育てる」(認め、励まし、支える)声掛け、指導・助言の在り方を全教職員で共有し、実践する。	①R6 学校評価生徒アンケート「わたしは、学校生活が楽しいと感じている」の「全くその通りだと思う」の回答60%以上を達成できたか。 ②生徒が安全安心に過ごすことができたか。					
		・個々の生徒・保護者の思いを受け止め寄り添い、誠実に対応する支援体制の実働	①ステップアップルーム (Sola る一む) でのオンラインを含めた効果的な学習方法の検討 ②生徒指導・いじめ対策委員会、教育相談・特別支援教育部会を毎週開催し、状況把握を丁寧に行い、迅速かつ丁寧に組織で対応する。	①ステップアップルーム (Sola る一む) の学習環境の充実を図り、運用方法の見直しを随時行うことができたか。 ②学校評価(教職員)の生徒指導・教育相談の体制にかかる質問項目において、3.0以上を達成できたか。					
3	【現状】 ○PTAと連携し情報発信アプリを活用して効果的に学校からの情報を発信している。 ○学校運営協議会において保護者、地域と連携し、目指す生徒像の実現に向けて積極的な熟議を積み重ねた。地域も協力的であり、学校との連携は図れている。 【課題】 ○学校HPには保護者への通知文やお知らせが不十分なため、内容を充実させ、より積極的・早期に学校の取組を発信することに課題がある。 ○計画的な学校運営協議会への生徒の参加が実施できておらず、地域と生徒が意見交換をする場を作る必要がある。	・開かれた学校づくりに関する取組	①学校ホームページに、学校運営協議会の情報を発信するページを作成し「目指す生徒の姿」を広く共有できるようにする。 ②学校公開週間を設定し、地域の方に教育活動を見ていただき、学校の教育活動や生徒の成長に係る関心を高める。	①保護者への学校評価アンケート「積極的な情報発信」の項目における肯定的な回答95%以上を達成できたか。 ②毎学期の学校公開や学校公開週間の実施ができたか。					
		・学校運営協議会を基盤とし家庭、地域と連携を密にした特色ある学校づくりに関する取組	①学校運営協議会を年3回実施し、学校の状況等を積極的に発信するとともに学校自己評価システムを活用してPDCAサイクルのもと家庭、地域と連携できるようにする。 ②学校運営協議会に生徒が参加する場を設定し、地域、保護者、教師、生徒が熟議を行えるようにする。	①教職員への学校評価「地域や保護者から寄せられた具体的な意見を把握し、適切に対応しているか。」の項目において、肯定的な回答の割合が95%以上を達成できたか。 ②学校運営協議会に生徒が参加する場を設定することができたか。					
4	【現状】 ○施設の老朽化が目立ち、優先順位を付けて修繕を行っているが追いつかない現状がある。 ○大規模校であり、計画的な予算執行を行っているが、予算がひっ迫している現状がある。 【課題】 ○学校配当予算で賄いきれない施設・設備があるため、業務に支障をきたしている。 ○授業等で使用している消耗品・備品も年数に伴い不具合があるため計画的な買換えが必要である。	・施設・設備点検や修繕を通じた事故防止対策に関する取組	①全教職員による毎月の安全点検に加え、管理職による目視による点検の実施。 ②修繕箇所の即日対応並びに教育委員会とも連携を図り安全な環境づくりを行う。	①学校評価(教職員)「毎月の安全点検が確実に実施され、必要に応じた対応が実施されているか」の項目において、肯定的な回答の割合が80%以上を達成できたか。 ②修繕箇所の即日対応を行うことができたか。					
		・適正かつ確実な予算執行に関する取組	①個別最適な学びの実現に重点を置いた予算編成の実施。 ②事務と連携した予算執行率の確認や執行内容についてのヒアリングの実施。	①適正かつ確実な予算執行の執行率を97%以上にできたか。 ②計画的な予算執行を行うことができたか。					
5	【現状】 ○主任を中心に教職員間でコミュニケーションは密にとっているが報告・相談の遅れから、家庭から不安の声が聴かれる場面が見られる。 ○年休等の休暇の取得も計画的に行うことができる教職員が多い。 【課題】 ○ベテラン教員による若手教員への指導、支援が少なく、若手教員の業務圧迫によって心身に影響を与える場面がある。 ○時間外在職時間の個々の差が大きい現状がある。	・一人ひとりを大切にできる職場環境づくり	①事案発生時には柔軟なメンバーによるケース会議を実施するなど、組織的に対応できるようにする。 ②教職員の提案に対して管理職や主任からその場で評価することで自信と意欲を持たせる。	①明るく活力ある職場を実現することができたか。 ②評価面談等を通して、教職員一人ひとりの状況把握を行い、適切に指導・助言を行うことができたか。					
		・ICTを活用した業務効率化を図る取組	①時間外在職等時間の見える化を行い、個々の時間を確認するとともに、実態に応じて個別に指導する。 ②学校DX推進部を中心にICTを活用した業務改善の方法を検討する。	①時間外在職時間等月45時間を超える職員の人数を延べ60人以下にする。 ②ICTを活用した業務改善を行うことができたか。					

学校運営協議会による評価	
実施日 令和 年 月 日	
学校運営協議会からの意見・要望・評価等	